

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地		
専門学校太田自動車大学校		平成17年3月28日	田鶴 大輔		〒373-0022 群馬県太田市東金井町796 (電話) 0276-25-2425		
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地		
学校法人太田アカデミー		平成4年3月27日	理事長 田鶴志郎		〒373-0812 群馬県太田市東長岡町1361番地 (電話) 0276-25-2424		
目的	学校教育法並びに道路運送車両法に基づき、自動車整備士として必要な高い技術と豊かな心をもって、総合的に対応できる能力を有する自動車整備士を育成することを目的とする。						
分野	課程名		学科名		専門士	高度専門士	
工業	工業専門課程		一級自動車整備学科			平成17年文部科学省告示第139号	
修業年限	昼夜	総授業時数	講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼間	4536	1400	0	2296	0	840
単位時間							
生徒総定員		生徒実員		専任教員数	兼任教員数		総教員数
80人		45人		3人	8人		11人
学期制度	■前期:4月1日から9月中旬まで ■後期:9月中旬から3月31日まで			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 優(A):100~90点、良(B):89~80点、 可(C):79~70点、不可(D):70点未満 4段階		
長期休み	■夏季:7月21日から8月31日まで ■冬季:12月21日から1月7日まで ■春季:3月26日から4月4日まで			卒業・進級条件	全ての科目について、1,2年次は60点以上、3,4年次は70点以上の評価及び90%以上の出席率が必要。		
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 担任が保護者と連携し、面談指導、必要に応じてスクールカウンセラーによるカウンセリングを実施。			課外活動	■課外活動の種類 野球部、サッカー部、バスケット部、 総合格闘技部、モータースポーツ部等 ■サークル活動: 有		
就職等の状況	■主な就職先、業界等 自動車ディーラー、自動車整備工場 ■就職率 ^{※1} : 100% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 100% ■その他 (平成27年度卒業者に関する平成28年5月1日時点の情報)			主な資格・検定等	一級小型自動車整備士、二級ガソリン・ディーゼル・二輪自動車整備士、危険物取扱者乙種4類、アーク溶接、ガス溶接、低圧電気取扱者、中古自動車査定士、損害保険募集人資格(基礎・商品知識)、グラインダー、有機溶剤作業主任者、職業訓練指導員等		
中途退学の現状	■中途退学者 0名		■中退率 0%				
	平成28年4月1日 在学者 47名		(平成26年4月1日 入学者を含む)				
	平成29年3月31日 在学者 47名		(平成27年3月31日 卒業者をを含む)				
■中途退学の主な理由							
■中退防止のための取組 担任制による学生管理及びスクールカウンセラーによるカウンセリング(学習、進路、経済的支援及び相談)							
ホームページ	http://www.ota.ac.jp/a-campus/						

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したもとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

学校側からは企業等に指定基準や現行のカリキュラムなどを説明し、企業等からは現場で求められる人物像、知識・技術レベルの情報提供を受け、意見交換を通じて、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行うことを基本方針とする。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成29年4月1日現在

名 前	所 属
内田 康之	一般社団法人 群馬県自動車整備振興会
内山 正浩	群馬日野自動車株式会社
川田 雅史	富士スバル株式会社
田鶴 大輔	専門学校太田自動車大学校 学校長
石塚 康弘	専門学校太田自動車大学校 教務部長
山本 卓爾	専門学校太田自動車大学校 総務部長
松山 文博	専門学校太田自動車大学校 自動車整備学科長

(開催日時)

第1回 平成28年 9月12日 16:30～17:30

第2回 平成29年 2月13日 16:30～17:30

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

日々進歩している自動車整備技術への追順、業務効率化のための各社の具体的な作業内容などを、企業等から、アドバイスを受け作業項目及び作業手順を明確化し、指導及び評価に反映するものとする。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
評価実務実習	インターンシップで経験した各種点検作業について、その熟練度を企業と連携して、審査し技術の向上を目指す。	富士スバル株式会社 オートガレージAMIGO
シャシ整備実習Ⅲ	インターンシップに向けて、各種点検作業について、企業の方と連携をして、技術力向上に取り組む。	富士スバル株式会社 オートガレージAMIGO
シャシ整備実習Ⅱ	シャシの一般的な点検に対して、企業の方の監修を受けて実技試験を実施。審査及び指導を行い技術力向上を目指す。	群馬日野自動車株式会社 山岸自動車钣金塗装
自動車工学Ⅲ	シャシ分野の学習内容について、企業の方の監修を受けて、確認テストの作成、実施を行い、理解力向上に取り組みたい。	群馬日野自動車株式会社 山岸自動車钣金塗装

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

職員就業規程第57条に定められている通り、教員の質を一定以上に保つことと技術の向上のために、業界で使用されている標準技術、最新技術などを教員が直接企業等から学ぶ研修と、教員・講師の授業技術の向上・指導技術向上を目指し研修を毎年度。また、特定の教員のみが受講した研修内容については伝達講習(他の教員に受講者が講習を実施)し共有する。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成29年4月1日現在

名 前	所 属
古矢 裕利	群馬ダイハツ自動車株式会社 係長 第1期 卒業生
佐藤 智之	群馬大学生協同組合 専務理事
茂木 一男	ミツワモーターズ 代表 群馬県自動車整備振興会 太田支部支部長
長沼 宏彰	足利工業大学附属高等学校 入試広報部長
田鶴 大輔	専門学校太田自動車大学校 学校長
石塚 康弘	専門学校太田自動車大学校 教務部長
山本 卓爾	専門学校太田自動車大学校 総務部長

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL:http://www.ota.ac.jp/a_campus/

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL:http://www.ota.ac.jp/a_campus/

授業科目等の概要

(工業専門課程一級自動車整備学科一級自動車整備士コース) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・ 学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業 等との 連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			基礎自動車工学	自動車整備技術に関する基礎知識を学びます。	1・ 前期	35		○			○		○		
○			自動車工学Ⅰ	ガソリンエンジンについて三級整備士に必要とされる知識を学びます。	1・ 通期	70		○			○		○		
○			自動車工学Ⅱ	ディーゼルエンジンについて三級整備士に必要とされる知識を学びます。	1・ 通期	70		○			○		○		
○			自動車工学Ⅲ	シャシ（自動車のエンジンとボデー以外の内容）について三級整備士に必要とされる知識を学びます。	1・ 通期	70			○		○		○		○
○			自動車工学Ⅳ	演習形式で二級自動車整備士試験対策を実施します。	2・ 後期	105			○		○		○		
○			自動車工学Ⅴ	一級自動車整備士の学習範囲のうち、自動車の新技術について学びます。	3・ 前期	42		○			○		○		
○			自動車工学Ⅵ	演習形式で一級自動車整備士試験対策を実施します。	4・ 前期	84			○		○		○		
○			力学	整備士の学習に必要な力学や数学を学びます。	1・ 後期	35		○			○		○		
○			自動車材料	自動車に用いられる材料についてその種類や用途を学びます。	1・ 前期	5		○			○		○		
○			電気・電子理論	自動車に用いられている電気・電子について学びます。	1・ 後期	35		○			○		○		
○			燃料・潤滑剤	自動車に用いられる燃料（ガソリン、軽油など）や潤滑剤（オイルやグリース）の性質や用途を学びます。	1・ 前期	30		○			○		○		

○		製図	図面の基本的な図記号、表現方法などを学びます。	1・後期	35		○			○		○					
○		ガソリンエンジン整備	ガソリンエンジンについて二級整備士に必要とされる知識を学びます。	2・前期	35		○			○		○					
○		ディーゼルエンジン整備	ディーゼルエンジンについて二級整備士に必要とされる知識を学びます。	2・前期	35		○			○		○					
○		エンジン電子制御	一級自動車整備士の学習範囲のうち、エンジンに関する電子制御を学びます。	3・通期	105		○			○		○					
○		シャシ整備	シャシについて二級整備士に必要とされる知識を学びます。	2・前期	35		○			○		○					
○		シャシ電子制御	一級自動車整備士の学習範囲のうち、シャシに関する電子制御を学びます。	3・通期	133		○			○		○					
○		故障原因探求	基本的なトラブルシューティングについて学びます。	2・前期	5		○			○		○					
○		総合演習Ⅰ	実際の整備士技能登録試験に近い演習形式で二級整備士試験対策を行います。	2・通期	135					○		○		○			
○		総合演習Ⅱ	二級ガソリン、ディーゼルの学習範囲を復習し、二級二輪整備士試験対策を行います。	3・通期	35					○		○		○			
○		総合演習Ⅲ	一級自動車整備士の試験対策として、問診及び整備説明を学びます。	4・前期	56					○		○		○			
○		総合診断	実践的なトラブルシューティングについて学びます。	3・通期	35		○			○		○					
○		環境保全	公害などを理解し、環境保全に必要な法令などを学びます。	3・後期	11		○			○		○					
○		安全管理	整備工場の安全確保、指導徹底などを学びます。	3・後期	10		○			○		○					
○		整備作業機器Ⅰ	基本的な整備作業機器の種類や取り扱い方法を学びます。	1・前期	17		○			○		○					

○		整備作業機器Ⅱ	一般的な整備作業機器の種類や取り扱い方法を学びます。	3・前期	9	○			○	○								
○		測定機器Ⅰ	基本的な測定機器の種類や取り扱い方法を学びます。	1・前期	12	○			○	○								
○		測定機器Ⅱ	一般的な測定機器の種類や取り扱い方法を学びます。	3・前期	5	○			○	○								
○		検査機器Ⅰ	基本的な検査機器の種類や取り扱い方法を学びます。	1・前期	6	○			○	○								
○		検査機器Ⅱ	一般的な検査機器の種類や取り扱い方法を学びます。	3・前期	7	○			○	○								
○		自動車検査Ⅰ	道路運送車両法について学びます。	2・前期	35	○			○	○								
○		自動車検査Ⅱ	道路運送車両法について理解を深めます。	3・後期	14	○			○	○								
○		自動車法規Ⅰ	道路運送車両法保安基準について学びます。	2・前期	35	○			○	○								
○		自動車法規Ⅱ	道路運送車両法保安基準について理解を深めます。	3・後期	14	○			○	○								
○		工作実習Ⅰ	整備作業に必要な基本的な工作作業を学びます。	1・前期	24				○	○								
○		工作実習Ⅱ	整備作業に必要な一般的な工作作業を学びます。	3・前期	24				○	○								
○		測定実習Ⅰ	整備作業に必要な基本的な測定作業を学びます。	1・前期	32				○	○								
○		測定実習Ⅱ	整備作業に必要な一般的な測定作業を学びます。	2・後期	14				○	○								
○		測定実習Ⅲ	整備作業に必要な応用的な測定作業を学びます。	3・前期	32				○	○								

○		ガソリンエンジン整備実習Ⅰ	ガソリンエンジンの基本的な整備を学びます。	1・通期	168					○	○		○		
○		ガソリンエンジン整備実習Ⅱ	ガソリンエンジンの一般的な整備を学びます。	2・通期	112					○	○		○		
○		ジーゼルエンジン整備実習Ⅰ	ジーゼルエンジンの基本的な整備を学びます。	1・通期	112					○	○		○		
○		ジーゼルエンジン整備実習Ⅱ	ジーゼルエンジンの一般的な整備を学びます。	2・後期	56					○	○		○		
○		エンジン整備実習	エンジンの実践的な整備を学びます。	3・通期	168					○	○		○		
○		シャシ整備実習Ⅰ	シャシの基本的な整備を学びます。	1・通期	168					○	○		○		
○		シャシ整備実習Ⅱ	シャシの一般的な整備を学びます。	2・通期	224					○	○		○		○
○		シャシ整備実習Ⅲ	シャシの実践的な整備を学びます。	3・通期	224					○	○		○		○
○		電装整備実習Ⅰ	電気装置の基本的な整備を学びます。	1・通期	168					○	○		○		
○		電装整備実習Ⅱ	電気装置の一般的な整備を学びます。	2・通期	112					○	○		○		
○		電装整備実習Ⅲ	電気装置の実践的な整備を学びます。	3・通期	112					○	○		○		
○		故障原因探求実習Ⅰ	基本的なトラブルシューティングを学びます。	2・通期	98					○	○		○		
○		故障原因探求実習Ⅱ	実践的なトラブルシューティングについて学びます。	3・後期	56					○	○		○		
○		車検実習Ⅰ	一般的な車検作業を学びます。	2・前期	56					○	○		○		

○		車検実習Ⅱ	実践的な車検整備を学びます。	3・後期	56					○	○	○		
○		サービスマネジメント	整備工場の運用、管理を学びます。	4・通期	280					○	○	○		
○		体験実務実習	外部でのインターンシップを経験します。	4・前期	224					○		○	○	
○		評価実務実習	体験実務実習の出来栄を確認します。	4・後期	616					○	○	○	○	
合計			57科目	4,536単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
全ての教科の評価が1,2年次は60点以上、3,4年次は70点以上かつ各出席率が90%以上であること。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	20週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。